

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の検査受託を開始することになりました。

取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しく願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- L - F A B P (L型脂肪酸結合蛋白) : 項目コード 5 1 6 2

受託開始日

平成 2 7 年 1 1 月 2 4 日 (火) 受付分より新規受託開始

※ 詳細につきましては、裏面の内容をご参照願います。

※ 今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目を受託中止とさせていただきます。

項目 コード	検査項目	受託中止期日
5792	L - F A B P (L型脂肪酸結合蛋白) 〔ELISA 法〕	平成 27 年 12 月 29 日 (火) の最終受託をもって中止

保健科学グループ



株式 会社 保健科学研究所

本 社 / 横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661
仙台支社 / 仙台市宮城野区扇町 1-1-6 TEL 022-236-9345
中部支社 / 名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201
大阪支社 / 豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622
福岡支社 / 福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

新潟臨床検査センター 遠州予防医学研究所
保健科学東日本 日本厚生団衛生科学研究所
日本ノーバメディカル研究所 湘南医化学検査センター
い が く 小 田 原 衛 検
組 織 科 学 研 究 所 相 模 医 研
ケーアイエー細胞病理研究所 東部メディカルセンター
カスタムメディカル研究所

新規受託項目

項目 コード	検 査 項 目	検体 必要量	容器 保存方法	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 判断料	備考
5162	L-FABP (L型脂肪酸 結合蛋白)	尿 2.0mL	C-7 冷蔵	CLEIA法	(クレアチニン換算値) 8.4以下 ($\mu\text{g/gCr}$)	4～7	210 尿・便	※ * 4

検査場所：エスアールエル（略号：* 4）

※検体提出時の注意事項

- ・凍結及び、他項目との重複依頼はできません。
- ・酸性蓄尿は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
- ・室温保存ではデータに影響が認められるため、速やかに冷蔵にして提出してください。

▼ 臨床的意義

L-FABP (Liver-type Fatty Acid Binding Protein : L型脂肪酸結合蛋白) はヒトの肝臓と腎臓に発現する分子量約 14 kDa のタンパク質であり、腎臓においては近位尿細管上皮細胞の細胞質に存在し、脂肪酸の細胞内代謝に重要な役割を果たしています。

L-FABP は近位尿細管が虚血や酸化ストレスの負荷などダメージを受けると近位尿細管上皮細胞から直ちに放出され尿中への排出が増加するため、組織障害が進行する前のストレスの程度を反映する新しいバイオマーカーとされています。このため、腎臓の構造・機能の障害が生じた結果、尿中への排泄が増加する尿中 N-アセチル- β -D-グルコサミニダーゼ (NAG) や、尿中 α 1-マイクログロブリンなどの尿細管間質障害のマーカーと比べ、急性腎疾患の早期診断に有用です。また L-FABP は腎疾患の進行とともに増加し、軽快とともに減少することから、慢性腎臓病 (CKD) などの腎機能障害の経過観察にも有用な検査となります。

▼ 参考文献

- 富田健一郎, 他 : 医学と薬学 72(8) : 1389～1395, 2015. (検査方法参考文献)
上條 - 池森敦子, 他 : MEBIO 27(1) : 58～63, 2010. (臨床的意義)